

3.18 討論集会にあつまり

斗争方針を練りあげよう



仲間たちへ。

昨年(こぞ)の4月の釜山斗争(釜山斗争) - 春闘斗争(春闘斗争)は、

釜山(釜山)はじめこのころまでであった。

その中には「討論集会」を軸に

みんなの意見や不満、怒り、を

まとめあげ、団結を強め、斗争と

スッていった。

西橋斗争(西橋斗争)を皮切りにセンターでの

団交という形なら飯場へ押し付け

ての団交という形だった。その中

で、労作者の団結に恐れをなした

西成署(西成署)は「マルチ」や私服を大

量動員し、釜山斗争(釜山斗争)、争議団の仲間

をラッキョウ系出所(ラッキョウ系出所)へつれこみ、「カ

クリ」し、ドツキまわし、けり上

げる。斗争弾圧(斗争弾圧) - 予防弾圧(予防弾圧)をな

けてきた。

労作者の団結を固くしなければならぬ

ど「敵」の姿ははっきりとしてく

る。独占資本(独占資本)や人夫出し、半配師

ポリ公、ヤー公(ヤー公)などが。

釜ヶ崎解放 1981 3/17 釜山斗争議団

今年は、昨年^{こぞ}の斗^{たたか}いをぶきえ、昨年^{こぞ}を上^あ回る斗^{たたか}いの輪^わを広^{ひろ}げ、ためらひのや一回^{いちかい}目の集^{あひ}会^{かい}、そしては日^ひには本^{ほん}三^{さん}回^{かい}目の討論^{たうろん}集^{あひ}会^{かい}を予定^{よてい}してします。

仲^{なつ}直^{ぢま}の意見^{いけん}で方針^{ほうしん}・方向^{ほうきやう}は決^{きま}まるのです。多^{おほ}くの仲^{なつ}直^{ぢま}の結^{けつ}集^{あひ}をうったえる。

仲^{なつ}直^{ぢま}たち△△

日々^{にち}オ^オ4^よ単^{たん}価^げ、単^{たん}価^げ諸^{しよ}条^{じょう}件^{けん}の悪^{あく}化^か、たえることのみは暴^{ぼう}力^{りき}事件^{じけん}——これらと対^{たい}決^{けつ}していく陣^{じん}型^{けい}をみんまで作^{つく}ていこう△△

☆ 釜^{かま}日^{にち}労^{らう}・争^そ議^ぎ団^{だん}と共^{とも}に斗^{たたか}いおこす

☆ 強^{かえり}むこハネを許^{ゆる}さず

満^{まん}足^{そく}のこく単^{たん}価^げをかちころう

☆ 全^{ぜん}国^{こく}の密^{ひそ}用^{よう}せ場^ば単^{たん}価^げ者^{しや}と

団^{だん}結^{けつ}し斗^{たたか}いに起^たち上^ある